

バトントワリング部活動報告

～ 最終版・第5回芸術祭 ～

淀川女子高等学校時代から長い歴史をもつ本校バトントワリング部ですが、部員不足のため今年度の3年生引退をもって活動停止となりました。

今回はバトントワリング部の最後のステージとなった第5回芸術祭の報告です。

1曲目は昨年後の大阪府大会の合同演技曲
星野源の「恋」。

恋ダンスが流行っただけあって、リハーサルの時から、他の部活の生徒も一緒に踊ってくれるなどで盛り上がっていたので、当日も観客の皆さまに楽しんでいただきました。



2曲目は、昨年末に大阪ビジネスフロンティア高等学校との合同発表会で使用した「One step further」。

大阪ビジネスフロンティア高等学校のバトントワリング部も本校同様、部員の減少により、なかなか演技発表の機会がないとのことでした。そんな状況の中で実現した合同発表会だったので、この曲もとても思い出深い曲です。

大阪で唯一、フラッグバトンを使用している本校ならではの綺麗なフラッグの演技をお見せすることができました。

最後の曲は「英真学園高等学校 応援歌」
この応援歌は、本校の卒業生が作詞を手がけ、
英真学園の創立 80 周年を記念して誕生した
歌です。
各クラブの試合の壮行会や、学園祭・体育祭、
また新入生歓迎会やオープンスクール等、
様々なシーンで歌われるので、生徒にとって
馴染みの深い歌です。



バトントワリング部では、各学校行事の他にも外部での大会やステージでも、必ずこの応援歌をフラッグ
バトンを使い、演技披露してきました。年度によって部員数が変わるので、その度にフォーメーションを組み直
したり、投げ技のパターンを変えたりして、歴代の先輩から引き継ぎながら、大事にしてきた曲です。最後のス
テージで、投げ技が綺麗に決まり、観客席から拍手をいただきました。



芸術祭の最後は、参加クラブ生全員による
応援歌。

文化系のクラブ生が多い芸術祭ですが、最後は
全員で元気よく応援歌を歌い上げ、第 5 回芸術
祭を締めくくりました。

準備やリハーサル、当日の司会や片付け
まで、全て生徒が中心になって作り上げる
芸術祭。地震の影響で、学園祭が中止になっ
てしまった今年、クラブ生にとってはこの芸術
祭が最大の発表の場でした。お疲れ様でした。

バトントワリング部は、この芸術祭が最後のステージでした。
今まで、長い間バトントワリング部を支えていただいた保護者の皆様、
熱心に後輩の指導に当たっていただいた歴代の卒業生の皆様。この場を
お借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

